

第26回参院選

自民党大勝！ 山崎氏勝ち抜く

安倍元首相凶弾に倒れ死去！

自民党単独過半数確保

第26回参院選は、全125

議席の当選者が決まった。自民党単独で改選過半数の63議席を確保し、大勝。32ある改選1人区で28勝4敗と野党に圧勝した。自民が60台を確保するのは2013年以来。物価高、安全保障政策、憲法改正を主な争点に、岸田首相は昨秋の衆院選に続く大型国政選挙に勝利し、政権基盤は強まりそうだ。

立憲民主党は23議席から6議席減らし17に。公明党は1議席減らし13に。日本維新の会は比例で8議席を確保し、6議席から12と倍増。今回の比例で野党第1党となった。共産党は2議席減らし4に。国民民主党も2議席減らし5に。れいわ新鮮組が3、NHK党が1、諸派の参政党が1

議席を比例で獲得した。

今回、現職93人、元職15人、新人437人が立候補、このうち女性が181人と3割を超えたが、女性候補が少ない与党が大勝した結果、当選者は35人。過去最多とはなつたが、全体の28%で3割に届かなかった。

比例代表には9政党、6政治団体の計15団体が届け出た。比例代表は政党・政治団体の名称か候補者の個人名を選んで投票する方式になっており、過去最高の78%が党名で投票。党名票の割合が共産党に次いで最も高かったのが日本維新の会。次に、れいわ、参政党と続き、自民党、立民、国民はその後だった。

今回の参院選の投票率を選挙区で52・05%、比例代表で

第26回参院選 福井選挙区開票結果

当	135,760	山崎 正昭	自民・現⑥
	122,382	斉木 武志	無所属・新
	31,226	笹岡 一彦	無所属・新
	26,040	砂畑まみ恵	諸派・新
	17,041	山田 和雄	共産・新
	9,203	ダニエル益資	NHK党・新

※ 投票率 55.32%



喜びのグータッチを交わす山崎正昭氏

山崎氏は越前市で8千票、鯖江市で3千票近く山崎氏に差を付けた。これまで衆院選を2回戦った福井2区の地域で7千票上回ったが、大栗田の福井市と坂井市で山崎氏に1万1750票の差を付けられ、結果的にこの差が勝敗を左右した。

笹岡氏は地元あわら市で6041票と最多得票となった

山崎氏は現職の山崎氏は一昨年から今回の参院選に向けて着々と準備を進め、年頭から企業・団体のあいさつまわりを開始。全県下に選挙連絡事務所を設置し、企業・団体からの推薦も千以上と前回を上回り、SNSも利用するなど陣営はこれまでになく盤石の態勢で新人候補の挑戦に対抗。参院議長や官房副長官などの要職を歴任した実績や経験、人脈を前面に「この厳しい社会に経験と知見、人脈を駆使し、福井を再発信したい。新しい時代の原動力になる」と訴え、

戦後最多の立候補者が乱立！ ベテラン山崎組織戦で勝つ

福井選挙区(改選1)は現職と新人合わせて過去最多の6人が立候補、乱激戦となった。6期を目指す自民党現職の山崎正昭氏(80歳)公明党推薦

に、政治団体「参政党」新人の砂田まみ恵氏(40歳)、元衆院議員で無所属新人の斉木武志氏(48歳)、元県議で無所属新人の笹岡一彦氏(66歳)、共産党新人の山田和雄氏(54歳)、元大野市議でNHK党新人のダニエル益資氏(42歳)の5新人が挑んだ。

自民と袂を分かった笹岡氏の出馬、N党や参政党による

全国的な公認候補づくりも重なり、戦後最多の立候補者が乱立。今回、野党統一候補は擁立できず、本県野党の非力さが浮き彫りとなった。

実績や人脈を強調するベテランに挑む新人候補は高齢や多選批判を軸に「世代交代」を訴え、選挙期間中、激しい火花を散らし、当初の予想を反して山崎氏と斉木氏が接戦に。最終的には山崎氏が逃げ切り13万5760票を獲得し、6選を果たした。斉木氏は一歩及ばず1万3000票差で次点に泣いた。

信念と情熱見せつけ

県内の比例代表政党別の得票は、自民党が45・20%。次に日本維新の会が12・83%で、立民の9・66%を上回った。

が、丹南、嶺南地域に浸透できなかった。参政党の砂畑氏は地元鯖江市や越前市、福井市で支持を広げ、笹岡氏に5千票差に迫った。